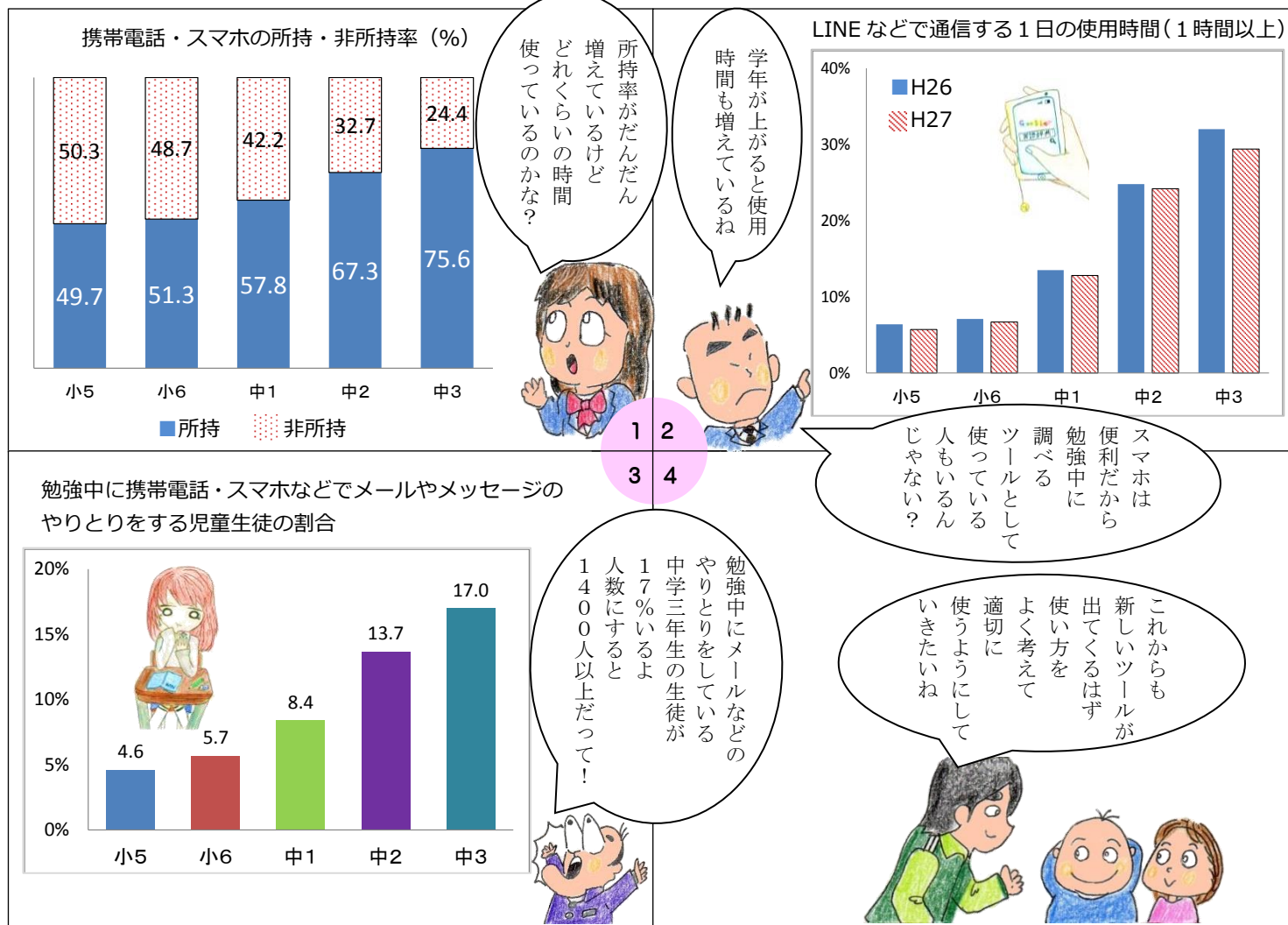


### 3 勉強中に、携帯電話・スマホのメールやメッセージのやりとりをしている子どもたちがいます



### 携帯・スマホが及ぼす影響や、使用するとき約束を決めておくことの大切さを理解させましょう

**学校では**  
**たく生きの授業実践**  
 たく生き(たくましく生きる力育成プログラム)授業プラン「ゲーム・スマホ・携帯と上手に付き合っていくこう」を実践しましょう。スマホを1時間以上使用すると成績が下がる結果(仙台市教委 web ページ参照:平成26年度調査)が出ていることに気付かせ、スマホや携帯との付き合い方について考えさせるようにします。

**正しい使い方の啓発**  
 スマホや携帯の使い方によっては、学力への影響の他にも、いじめや犯罪に巻き込まれる危険性があることを十分に理解させることが大切です。保護者も交えたスマホ講座を行ったり、学校便り等で各家庭にスマホの影響について知らせたりしましょう。

**ご家庭では**  
 携帯・スマホを使用する際に、ご家庭で以下のような約束事を決めるなど、工夫しましょう。

約束の例

- ・1日1時間以上使用しない
- ・部屋に携帯・スマホを持ち込まない など

保護者の方がのぞましい使い方の手本を見せましょう。

仙台市確かな学力研修委員会 生活・学習状況調査部会 仙台市教育委員会 学びの連携推進室  
 本調査に関する詳細なデータは、仙台市教育委員会のホームページをご覧ください。

検索

仙台市生活・学習状況調査

# すずめっこ

確かな学力研修委員会  
 生活・学習状況調査部会

～「H27生活・学習状況調査」から見える仙台の子どもたち～

## 平成27年度 仙台市 生活・学習状況調査

分析の結果をお知らせします

できるところから  
 まず、やってみっぺし！

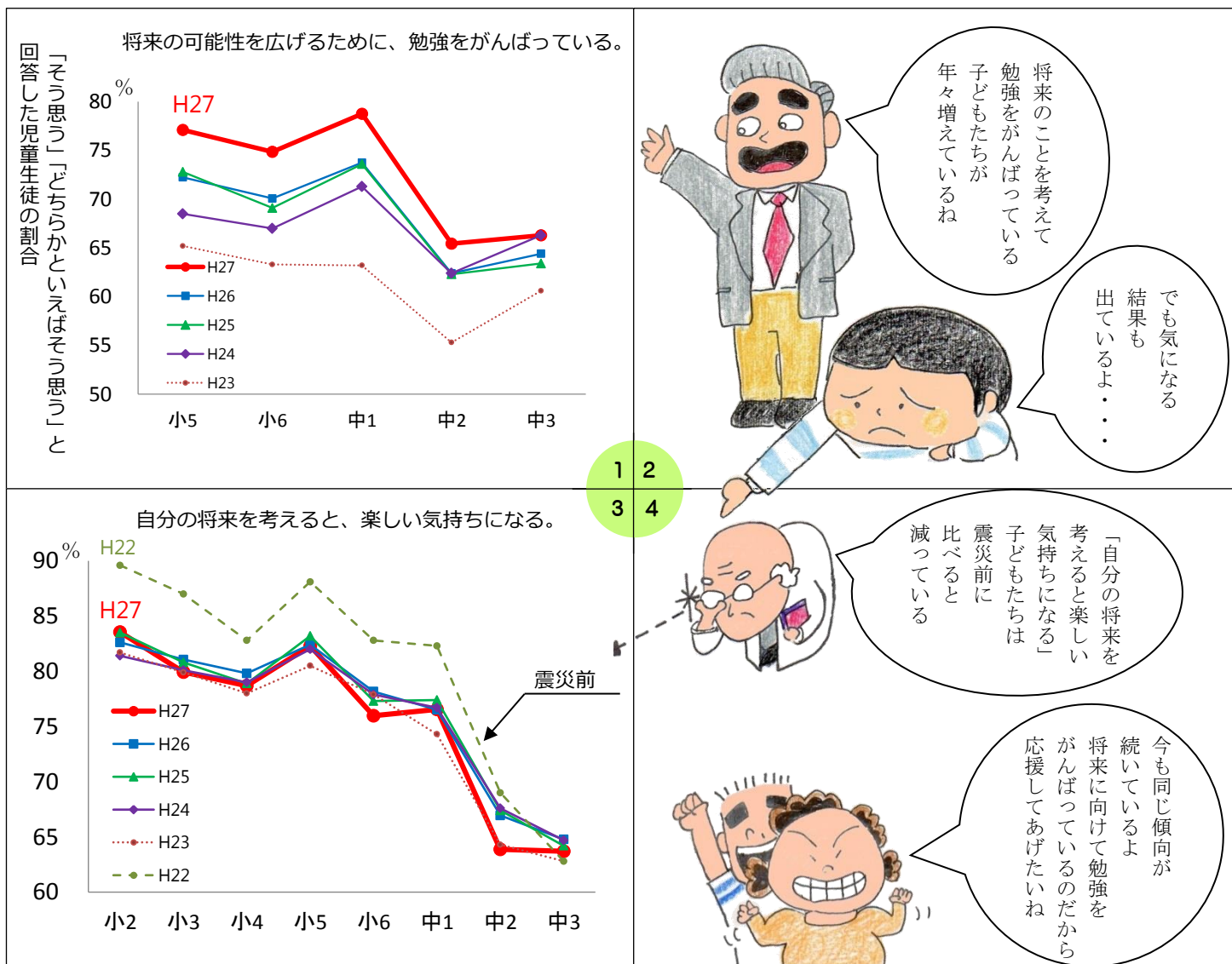
- 1 将来の可能性を広げるために、勉強をがんばっている子どもたちが増えています 一方・・・
- 2 地域の行事に参加する子どもたちが増えています
- 3 勉強中に、携帯電話・スマホのメールやメッセージのやりとりをしている子どもたちがいます

**実施状況**

- ①実施校数・・・ 市立小学校 123校 市立中学校 63校 中等教育学校 1校
- ②実施日・・・ 平成27年4月13日(月)～17日(金)
- ③調査人数・・・ 小2 8,698人 小3 8,608人 小4 8,263人 小5 8,356人 小6 8,811人 中1 8,492人 中2 8,439人 中3 8,551人
- ④実施内容・・・ ○学校生活 ○授業 ○学習意欲 ○家庭生活 ○自由時間 ○家庭学習等 ○社会・地域との関わり ○道徳心・挑戦・夢 ○自分づくり の9領域についての質問紙調査

詳しくは 中面へ

# 1 将来の可能性を広げるために、勉強をがんばっている子どもたちが増えています 一方・・・



## 将来に対して前向きにとらえるきっかけとなる活動を生かしましょう

### 学校では

#### 仙台自分づくり教育における体験活動の充実

自分の夢・目標・将来について考える機会を積極的に活用しましょう。

- 例 自分づくり夢教室 職場体験活動
- スチューデントシティ ファイナンスパーク

#### 活動の振り返り

体験活動後は、活動を振り返らせ、学習したことが自分の夢・目標・将来につながっていることに気付かせ、学習意欲の向上を図りましょう。

#### 意欲的に学校生活を過ごすことができる学級・学年づくり

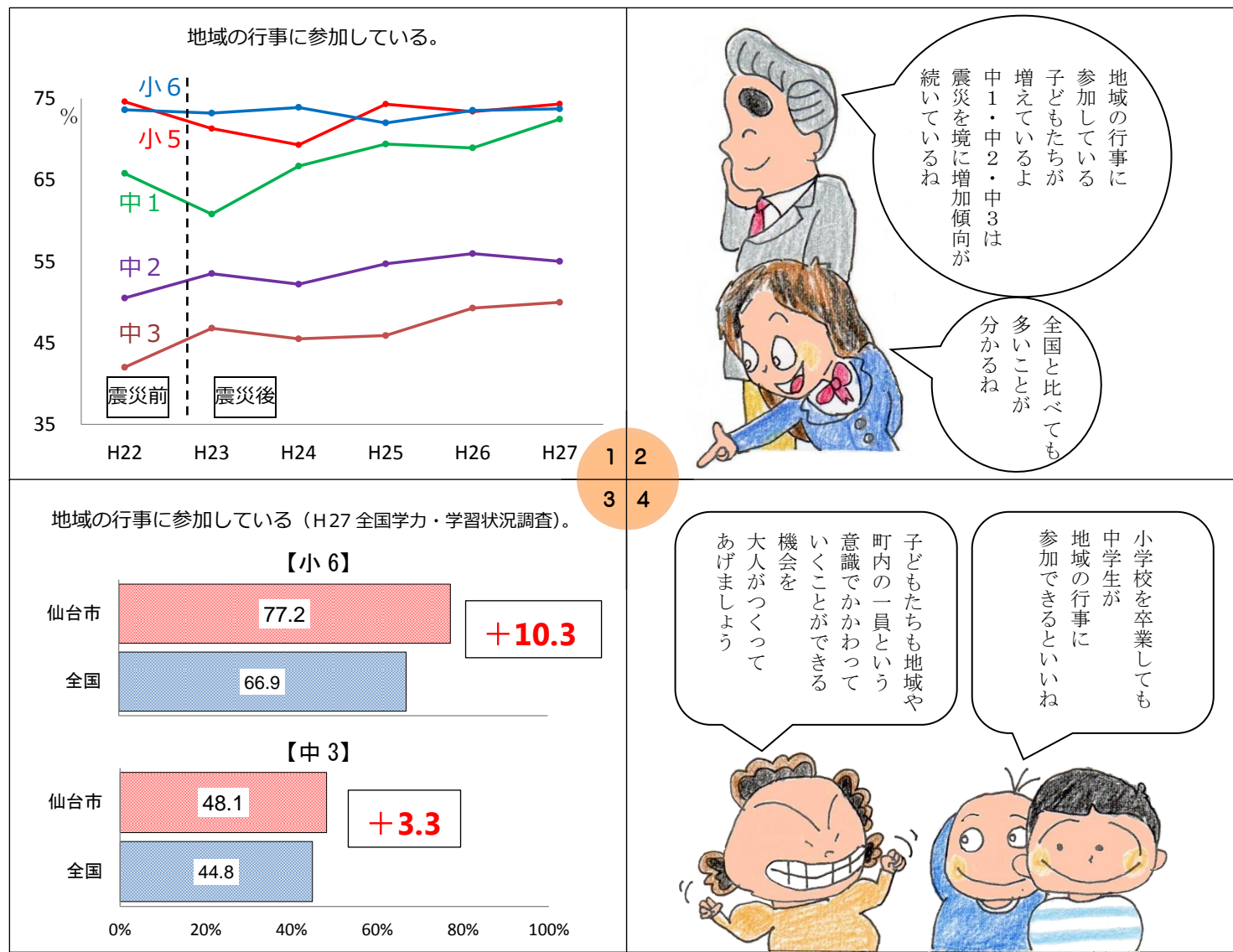
児童生徒が互いに認め合い、安心して自己表現ができるような学級・学年づくりを行い、学習活動に主体的に取り組んだり、前向きな気持ちで学校生活を過ごしたりすることができるようにしましょう。

### ご家庭では

将来のことを話題にする機会が多いことと思います。お子さんの将来の夢や目標について一緒に考え、自分が子供の時に抱いていた夢などを話して聞かせたり、学年相応のアドバイスをしたりすることで、お子さんが将来に向けて前向きな気持ちになれるように励ましましょう。



# 2 地域の行事に参加する子どもたちが増えています



## 地域・町内の一員として活躍の場を持たせ、進んで地域・町内とかかわるようにしましょう

### 学校では

#### 児童生徒が「参加」から「参画」する行事へ

地域では、小学6年生が子供会をまとめているところが多く、小学校卒業を一区切りとしているため、中学校進学後に参加できる地域の行事が減る傾向があります。活躍の場を持たせるために、地域の行事に「参加」から「参画」型の活動ができるように、地域の方々と相談するなど、工夫して取り組んでみましょう。

#### 地域とかかわる活動の場を広げる

児童生徒と地域とのつながりをつくるために、生徒会等で行っているボランティア活動を広げたり、部活動単位等で地域とかかわりをもつ活動の場を広げたりしましょう。

### ご家庭では

子供会・町内会などの行事や地域の防災訓練等に、家族で参加し、地域の一員であることに気付かせてあげましょう。そして、お子さんにあいさつの大切さを声掛けしたり、あいさつができているときには褒めたりするなど、お子さんが地域の方々と進んで触れ合い、よりよい関係を築けるようにしましょう。

また、地域の子どもたちが頑張っている様子を見かけたときは、積極的にお声掛け願います。

